

校長からのメッセージ

『ようこそ口加高校へ！！ ～決意新たに十五の春～』

口加高等学校長 狩野 博臣

中学生の皆さんへ

口加に憧れ、努力し、栄冠を勝ち取った皆さん、合格おめでとう！今、皆さんはドキドキして座っていることでしょう。ここは、間もなく皆さんの学校になります。四月八日の入学式。これから始まる高校生活への大きな期待を胸に、ワクワクして正門をくぐってください。皆さんの入学を私たちは笑顔で祝福し、心から歓迎します。

「一人一人の夢や目標に優劣はありません。生徒に愛情を注ぎ、寄り添い、進路目標を達成させる高校でありたい」

これが、私たちが目指す口加高校です。高校は夢を語り、夢を育み、その夢を志に変えていく場所です。そしてその志を遂げるために、具体的な目標を設定し、実現していく場所です。口加高校は生徒と先生との距離が近い学校です。皆さんに寄り添い、しっかり伴走したいと考えています。あなたの夢をしっかり育ててください。

さて、歌手のアンジェラ・アキさんに「手紙 ～拝啓十五の君へ～」という曲があります。その歌詞の前半は十五歳の自分が悩みもがく心の内を吐露した内容で、歌詞の後半は大人になった自分が十五歳当時の自分への返事、という形で書かれています。

拝啓 この手紙読んでいるあなたは どこで何をしているのだろう
十五の僕には誰にも話せない悩みの種があるのです
未来の自分に宛てて書く手紙なら きっと素直に打ち明けられるだろう
今 負けそうで泣きそう消えてしまいそうな僕は 誰の言葉を信じ歩けばいいの？
ひとつしかないこの胸が 何度もばらばらに割れて苦しい中で
今を生きている 今を生きている

拝啓 ありがとう 十五のあなたに伝えたいことがあるのです。
自分とは何でどこへ向かうべきか 問われ続ければ見えてくる
荒れた青春の海は厳しいけれど 明日への岸边へと 夢の舟よ進め
今 負けないで 泣かないで 消えてしまいそうなきときは 自分の声を信じ歩けばいいの
いつの時代も悲しみを避けては通れないけれど 笑顔を見せて
今を生きて行こう 今を生きて行こう
人生の全てに意味があるから 恐れずにあなたの夢を育てて

高校の3年間は、「自分は一体何をしたいと思っているのか」そう問い続け、答えを模索する時間でもあります。その過程で時に迷い、時に悩み、時に苦しむこともあ

るかもしれません。荒れた青春の海が厳しい時も、私たちはあなたのそばにいます。
明日への岸边へと夢の舟を進めていくあなたを、私たちは全力で応援します。

保護者の皆様へ

□加高校校長の狩野博臣と申します。

お子様の合格、誠におめでとうございます。

なかなか学習のエンジンがかからない我が子にヤキモキされたこともあったことと拝察いたします。また、特に入試の前は体調を気遣い、常に温かい眼差しで子どもを見守られた保護者の皆様方に敬意を表したいと存じます。

「家庭と学校のバリアフリー」「保護者と教員のバリアフリー」

これが、私たちが目指す□加高校です。ある方が「小学校、中学校、高校と上がるにつれて、学校の敷居が高くなる」とおっしゃいました。□加高校は決して敷居が高いところではございません。風通しのよい学校でありたいと思います。保護者の皆様と教員がお互いに尊敬し合い、信頼し合う関係でいることはお子様も嬉しいものです。お気軽にご相談事などご一報ください。学校と家庭が連絡を取り合うのは、一般に好ましくないことが起こった時が多いようです。しかし、これからはお子様の成長など嬉しい出来事があった時こそ情報を共有したいと思ひますし、それがお子様の一層のやる気と成長へつながるものです。

さて、私は昨年4月に□加高校の校長を拝命し、着任いたしました。初めて校長室に入った時、うちの職員から次のようなことが書かれたメッセージカードが机に置かれていました。「□加高校の最大の自慢は、何と言っても生徒です。生徒たちのピュアなハートと素直さは県下一と自負しております。」という内容でした。この言葉を読んだとき、感激しました。県下に56校の県立高校がありますが、「おたくの学校の自慢は何ですか？」と聞かれて、「生徒です。」と答える学校はそうないと思ひます。「自慢は？」と問われて、真っ先に生徒が浮かぶうちの職員、そして何よりもそう答えさせる子どもたち。3年間、しっかりと育ててまいりたいと存じます。

激動とか予測不能などと形容される時代の中にあって、どんな環境におかれてもたくましく自分の道を切り拓いていく「骨太の人間力」を持った生徒を育てたいと思ひます。伝統に胡坐（あぐら）をかきことなく、さらに進化し続け、保護者の皆様や地域のご期待に添う学校創りに努めてまいります。進化し、勢いのある学校とは、保護者の皆様と教職員の「願ひ」や「知恵」、「力」が結集する学校です。皆様と私たち教職員ががっちりスクラムを組んで、お子様の能力と可能性を最大限引き出してまいりたいと考えています。また、地域の声に耳を傾けながら、地域から愛され、お子様が母校を誇りに思ふ学校創りに邁進いたします。今後とも様々な場面でお世話になるかと存じます。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。